人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

45号

大日化成株式会社
〒571-0030　大阪府門真市末広町 8-13
TEL：06-6909-6755　FAX：06-6909-6702
URL：http://www.dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法　水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます
BIGSUN
RX工法

難燃性の新防水工法『ビッグサンFP工法』

火災は被害が拡大することで更なる二次被害を引き起こす可能性があります。なるべく燃焼しない材料を使用することで火災の被害も少なくなり、助かる命が増えることも期待できます。

こういった期待や需要にともない、ポリマーセメント系塗膜防水材に全く新しい「燃え広がらない」機能を付加させました。キーワードは「難燃性」です。ポリマーセメント系塗膜防水材は、元々、セメント・骨材が含まれていますので、樹脂主体の他の防水材よりは、燃えにくい素材ではありますが、やはり樹脂成分が多く配合されているため全く燃えない訳ではありません。そこで更に燃えにくい素材を追求してきましたが、ようやく難燃性防水材の開発に成功し、「ビッグサンFP工法」を販売開始いたしました。

「燃え広がらない」素材化への研究は、実はかなり前からスタートさせてはおりましたが、公的試験でそれが証明されるレベルまで、かなり試行錯誤いたしました。

「防水材」として弾性素材を維持させつつ、燃焼性を落とす作業は、有機と無機の特性の相反する素材特性をうまく融合させなければなりません。弾性機能を保持するには有機物である樹脂の力は必要であり、燃えない素材への方向として無機（セメント・骨材）の力もやはり必要となります。両者のバランスがうまく機能して、初めて弾性体でありながら、燃焼性も低いという新たな防水材が誕生することになるわけです。

燃焼性の規格は「UL規格」というもので、歴史ある民間団体「米国保険業者安全試験所（Underwriters Laboratories）」によって策定された規格で、多くは米国規格協会（ANSI）により国家規格として認められており、その中で「UL94規格」は、「プラスチック材料の燃焼性試験規格」になり、「ビッグサンFP工法」は床面に施工される防水仕様となるため、今回水平にて炎の燃え広がりをみる「水平燃焼試験（UL94HB）」にてその燃焼性を確認しました。

試験は、幅13ミリ、長さ125ミリ、厚さ1ミリの短冊状の試験体を端からバーナーで30秒間燃焼させ、どのぐらいの距離まで燃焼が続くのかという内容の試験になります。

「60秒後に75ミリ地点まで燃えていないこと。」という基準でしたが、「ビッグサンFP工法」は、3試験体とも25ミリさえも燃焼が到達していないという結果となり、燃え広がらない材料であることが確認できました。

次に、国内規格であるJIS K7201-2：2007「プラスチック－酸素指数による燃焼性試験」においても、燃焼性を確認しました。その素材が燃焼するのにどのくらいの酸素濃度を有するかという酸素指数という数値を計測するものです。一般的に酸素指数26以上のものが「難燃性」という区分にあたります。

「ビッグサンFP工法」は、酸素指数31．3という試験結果となり、改めてJIS規格においても「難燃性」であることを確認しました。

この難燃性を有するポリマーセメント系塗膜防水材、火災の被害を減少させたい思いから室内用途OAフロア用の防水仕様として「ビッグサンFP工法」としてお届けいたします。

また、この燃焼性をわかりやすく弊社ホームページにも動画にて公開中ですので、どのぐらい燃え広がらないかをご自身の目でご確認いただければと思います。

今年も11月から「冬用ビッグサン」を販売します！

昨冬は寒さの厳しい日が多く、現場で作業をする職人さんは「材料が乾かない。」「硬化がなかなか進まない。」等の困り事が例年よりも多かったと伺っております。

特にビッグサン等の水性材料は、「寒いと乾燥や硬化に時間がかかる。」というイメージが強く、冬場の気温の低い時期は敬遠されがちなのですが、「冬用ビッグサン」の登場によって徐々にネガティブなイメージは無くなって来たように感じております。

今年で販売開始4年目になる「**冬用ビッグサン**」。去年はおかげ様で3月半ばには完売となってしまうほど、ユーザーの皆様には御好評を戴いております。今回は、「冬用ビッグサン（SC－800・R－800）」のどのような点がユーザーの皆様にウケているのかを、簡単に紹介したいと思います。

低温時でも硬化が早い

これはもう言うまでもなく、「冬用ビッグサン」最大の特長です。真冬で昼間でも最高気温が10℃以下という環境下でも、2時間程度で乾燥硬化し、次工程の施工が可能です。通年用のビッグサンの場合、環境条件によっては乾燥硬化待ちのため1日1工程しか作業が出来ない場合もありましたが、「冬用ビッグサン」であれば、硬化が早いため乾燥硬化待ちの時間を大幅に短縮出来ます。

材料配合比が判りやすい

「冬用ビッグサン」は、液材のSC－800と粉材のR－800が1：1の配合比で、水添加も無いため非常にわかりやすく、あと少しだけ防水材を作りたいという時に非常に便利との声を多く頂いております。プライマーも1液型の「BSプライマー#100」を標準仕様としており、施工時の材料ロスを少なく抑える事が可能です。

白華現象がおこりにくい

冬の時期、ビッグサンで問題になりやすいのが「白華」です。白華の仕組みについては以前に大日新聞でも紹介したので割愛しますが、「冬用ビッグサン」は硬化が早いことに加えて主成分の樹脂に耐水性の良いアクリル樹脂を使用しているため白華現象がおこりにくく、発売から3年が経過しますが、白華のクレームはほぼゼロです。

（※とは言え、未硬化状態で結露水に遭うと「冬用ビッグサン」でも白華がおきる可能性はありますので、日没ぎりぎりまでの作業は控えて養生時間はしっかり取ってください！）

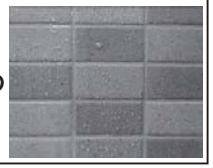
有機溶剤型防水材と違い、嫌な臭いもなく、安全に作業ができる水性材料の特長はそのままに、弱点だった低温時の作業性を改良した「冬用ビッグサン」、今年も11月より販売開始します！

まだお試しになっていない施工業者の方、是非一度お試しください！

こんなところで活躍しています

商業ビル屋根（VUS500）

スカイコートW
＜タイル張り面の透明外壁防水材＞
透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした1液型外壁用透明防水材です。
透明な塗膜
タイル仕上げの意匠性はそのまま!!



スカイレジン＜下地調整材＞
スカイレジンWE
エポフィラー
プライマーE
EPC－T
水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。
溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です！

BIGSUN **ラピタルエース**
＜速硬型軽量プレミックスモルタル＞
コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル

速硬
軽量
厚塗り可能
取扱簡単!!
冬用ビッグサンとセットでどうぞ!!